



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 昭光通商株式会社

コード番号 8090 URL <https://www.shoko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲泉 淳一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 島田 育男 TEL 03-3459-5051

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	52,748	△14.5	747	△27.1	842	△30.4	2,027	87.0
2019年12月期第2四半期	61,713	△4.1	1,025	△1.1	1,211	10.9	1,084	42.9

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 1,971百万円 (70.0%) 2019年12月期第2四半期 1,159百万円 (55.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	185.31	—
2019年12月期第2四半期	99.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	50,995	12,813	24.5	1,142.37
2019年12月期	58,141	10,842	18.2	965.34

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 12,496百万円 2019年12月期 10,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△16.6	1,100	△48.8	1,300	△47.7	2,300	26.8	210.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	11,271,468株	2019年12月期	11,271,468株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	332,326株	2019年12月期	332,052株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	10,939,283株	2019年12月期2Q	10,940,268株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により急速に悪化し、個人消費や雇用、企業収益に多大な影響を与えるなど、景気は厳しい状況で推移いたしました。

当社グループは、将来の持続的成長実現のための基盤整備ステージと位置づけた中期経営計画の2年目を迎えました。内外経済は、新型コロナウイルスの感染症拡大により深刻な影響を受けておりますが、「リスク管理の更なる強化」「復配の実現」「構造改革の完遂」を重点課題とし、引き続き諸施策を実行しております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、当社グループは、最大限在宅勤務を活用する等、従業員の安全確保と感染拡大防止を最優先にした施策を行っています。同時に、お客様に対する継続したサービス提供に注力しております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の当社グループ事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済の悪化から、内外の需要の落ち込みが一段と進み、主要商材の販売が減少するとともに、市況の下落等により販売価格も低下したことから、売上高は前年同期を下回りました。

また前年同期には、貸倒引当金の一部戻入があったこと等から、営業利益および経常利益も前年同期を下回りましたが、賃貸用不動産の売却による固定資産売却益を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は527億48百万円（前年同期比14.5%減）、営業利益は7億47百万円（前年同期比27.1%減）、経常利益は8億42百万円（前年同期比30.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億27百万円（前年同期比87.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

なお、事業構造改革のための諸施策立案・実行を加速すべく、前年に実施した組織の一部再編成に伴い、前第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「化学品」、「合成樹脂」、「金属セラミックス」、報告セグメントに含まれない事業セグメントを「その他」に変更しております。このため、当第2四半期連結累計期間の前年同期比較及び分析は、変更後のセグメントの数値に基づいております。

(化学品セグメント)

化学品関連は、一部商材は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う販売減少により減収となりました。

科学システム関連は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客の業務停止等の影響を受け、減収となりました。

以上の結果、売上高は164億82百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は3億3百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

(合成樹脂セグメント)

国内取引では、需要が低調に推移し、販売が減少するとともに、価格も下落したことから、減収となりました。また、貿易取引では、輸出版売が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、売上高は150億66百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は1億46百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

(金属セラミックスセグメント)

軽金属関連は、加工製品および原材料いずれも、需要の落ち込みにより販売が減少したこと等により、減収となりました。

無機材料関連は、鋼材生産の減速により、黒鉛電極やその他関連する商材の販売が減少し、市況も下落したことから減収となりました。

以上の結果、売上高は171億51百万円（前年同期比23.7%減）、営業利益は1億73百万円（前年同期比49.5%減）となりました。

(その他)

不動産関連は、賃貸物件の売却により減収となりました。

肥料農材関連は、農業資材が伸長し、肥料販売も底堅く推移したことから、増収となりました。

連結子会社のShoko (Thailand) Co., Ltd. は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うタイ国経済の落ち込みから、減収となりました。

以上の結果、売上高は40億47百万円（前年同期比13.1%減）、営業利益は1億26百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、509億95百万円（前連結会計年度末比12.3%減）となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」や、賃貸用不動産の売却等による「有形固定資産」の減少であります。負債は、381億82百万円（前連結会計年度末比19.3%減）となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の減少であります。

純資産は、128億13百万円（前連結会計年度末比18.2%増）となりました。主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加であります。

この結果、自己資本比率は6.3ポイント上昇して24.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向などを踏まえ、2020年3月11日に公表いたしました2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の通期連結業績予想を下表のとおり修正いたしました。（別途「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で開示しております。）

業績予想の修正

2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）通期連結業績予想の修正

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A) (2020年3月11日)	120,000	1,700	1,900	2,700	246.81
今回修正予想(B)	100,000	1,100	1,300	2,300	210.25
増減額(B)－(A)	△20,000	△600	△600	△400	△36.56
増減率(%)	△16.7	△35.3	△31.6	△14.8	△14.8
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	119,960	2,149	2,484	1,814	165.85

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響および市況変動の影響等により、前回予想を下回り減収を見込みます。営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、売上高の減少等に伴い減益を見込みます。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,413	10,223
受取手形及び売掛金	29,437	24,385
電子記録債権	5,300	4,652
商品及び製品	4,376	4,234
販売用不動産	12	12
仕掛品	104	125
原材料及び貯蔵品	530	514
その他	750	716
貸倒引当金	△28	△22
流動資産合計	47,897	44,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,421	306
機械装置及び運搬具(純額)	400	394
土地	4,736	1,709
その他(純額)	108	108
有形固定資産合計	6,666	2,518
無形固定資産		
のれん	6	5
その他	137	131
無形固定資産合計	143	137
投資その他の資産		
投資有価証券	2,290	2,271
繰延税金資産	323	416
長期未収入金	7,801	7,601
その他	840	836
貸倒引当金	△7,822	△7,627
投資その他の資産合計	3,432	3,498
固定資産合計	10,243	6,154
資産合計	58,141	50,995

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,759	17,301
電子記録債務	3,652	2,741
短期借入金	360	—
未払法人税等	236	373
賞与引当金	285	186
その他	2,540	1,592
流動負債合計	30,833	22,196
固定負債		
長期借入金	14,000	14,000
退職給付に係る負債	1,082	1,032
その他	1,383	953
固定負債合計	16,465	15,986
負債合計	47,298	38,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,021	8,021
資本剰余金	0	0
利益剰余金	1,140	3,653
自己株式	△482	△482
株主資本合計	8,680	11,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	98
繰延ヘッジ損益	0	△2
土地再評価差額金	788	302
為替換算調整勘定	1,070	1,035
退職給付に係る調整累計額	△144	△130
その他の包括利益累計額合計	1,880	1,303
非支配株主持分	281	316
純資産合計	10,842	12,813
負債純資産合計	58,141	50,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	61,713	52,748
売上原価	56,817	48,288
売上総利益	4,895	4,460
販売費及び一般管理費	3,870	3,713
営業利益	1,025	747
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	41	34
持分法による投資利益	123	109
還付消費税等	60	—
その他	19	13
営業外収益合計	249	161
営業外費用		
支払利息	48	44
為替差損	6	5
その他	8	16
営業外費用合計	63	66
経常利益	1,211	842
特別利益		
固定資産売却益	0	1,527
投資有価証券売却益	112	25
その他	0	—
特別利益合計	112	1,553
特別損失		
固定資産売却損	—	259
投資有価証券売却損	—	3
固定資産除却損	10	0
その他	—	12
特別損失合計	10	276
税金等調整前四半期純利益	1,313	2,119
法人税、住民税及び事業税	242	333
法人税等調整額	△42	△276
法人税等合計	200	56
四半期純利益	1,113	2,062
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,084	2,027

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,113	2,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△69
繰延ヘッジ損益	2	△2
為替換算調整勘定	30	△35
退職給付に係る調整額	18	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	2
その他の包括利益合計	46	△91
四半期包括利益	1,159	1,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,129	1,936
非支配株主に係る四半期包括利益	30	34

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,313	2,119
減価償却費	123	100
のれん償却額	0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19	△35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△55	14
受取利息及び受取配当金	△45	△38
支払利息	48	44
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△1,268
売上債権の増減額 (△は増加)	1,758	5,679
たな卸資産の増減額 (△は増加)	416	190
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,891	△7,353
預り保証金の増減額 (△は減少)	59	△207
長期未収入金の増減額 (△は増加)	△12	0
その他	△1,054	△1,124
小計	△357	△1,877
利息及び配当金の受取額	49	58
利息の支払額	△63	△42
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△149	△242
営業活動によるキャッシュ・フロー	△521	△2,103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△105	△139
定期預金の払戻による収入	—	207
有形固定資産の取得による支出	△62	△29
有形固定資産の売却による収入	0	5,386
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	262	61
投資有価証券の償還による収入	500	—
貸付けによる支出	△50	△100
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△21	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	520	5,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△140	△360
長期借入金の返済による支出	△1,000	—
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△6	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,146	△363
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,135	2,897
現金及び現金同等物の期首残高	4,854	6,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,719	9,833

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化学品	合成樹脂	金属セラミックス	その他(注1)	計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	17,313	17,254	22,488	4,656	61,713	—	61,713
セグメント間の 内部売上高又は振替高	55	44	116	127	343	△343	—
計	17,369	17,298	22,605	4,783	62,056	△343	61,713
セグメント利益 (営業利益)	277	199	342	199	1,019	5	1,025

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、肥料・農業資材、不動産、保険代理店業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化学品	合成樹脂	金属セラミックス	その他(注1)	計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	16,482	15,066	17,151	4,047	52,748	—	52,748
セグメント間の 内部売上高又は振替高	47	30	16	194	288	△288	—
計	16,529	15,097	17,167	4,242	53,037	△288	52,748
セグメント利益 (営業利益)	303	146	173	126	749	△2	747

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、肥料・農業資材、不動産、保険代理店業、海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントの区分は、従来「化学品」、「合成樹脂」、「金属」、「生活環境・アグリ」、「海外その他」としておりましたが、前第3四半期連結会計期間より、「化学品」、「合成樹脂」、「金属セラミックス」、報告セグメントに含まれない事業セグメントを「その他」に変更しました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。